

2017年度 経過報告・2018年度 活動方針

◎子ども食堂をめぐる情勢

近頃の子ども食堂の全国的な広がりには驚くばかりです。すでに 3,000 ヲ所に届くのではとさえ言われています。自治体やその他の団体等による子ども食堂の中間支援も拡充され、多くの先進的な事例が生まれています。

愛知県は、今後 5 年で子ども食堂の数を 200 ヲ所にするという数値目標を掲げ、子ども食堂モデル事業をスタートしました。しかし、先進的に取り組んできた既設の子ども食堂に対する具体的な支援策は予算化されませんでした。今後、中間支援の枠組みをどのように作りだしていくのか、愛知県・名古屋市との理解を深め、協働できる関係性作りに努力していきたいと考えます。

全国では企業の社会貢献制度を活用した食フェスタなど様々な催しが企画され、それらの情報も届くようになりました。あいち子ども食堂ネットワークに対する企業や団体や個人などから問い合わせが増え、関心の強さを実感しています。

◎ネットワークの活動

長久手市にて 2015 年 7 月、最初に生まれた愛知県の子ども食堂は、2018 年の 1 月現在で 70 ヲ所にまで増えました。昨年 6 月 24 日、300 人以上の参加で「あいち子ども食堂ネットワーク創立総会」を行うことができ、現在では正会員が 48 団体、賛助会員が 66 の個人・団体となりました。

あいち子ども食堂ネットワークの目的である子ども食堂同士の交流を深めるために、2017 年 9 月には愛知県内の 4 つのブロックにおいて連続学習・交流会を行いました。第 1 回目は名古屋市内を中心にして、食を提供する子ども食堂にとって一番重要な「食品の衛生管理」についての学習をしました。また、その後は小グループに分かれて、各子ども食堂の情報・課題などの交流を行いました。2 回目は尾張西部地区では「アレルギーを知る・考える。」と題して専門家を招き学習し、楽しく交流しました。3 回目は尾張東部地区では、交流に重点を置いて 17 人が熱心に語り合いました。4 回目は名古屋市内で、「子どもの人権ってなあ〜に」と題して子どもの人権について学習を行い、中京大学の成ゼミ生が参加し、交流会では積極的に発言していました。この連続学習会でも出された共通の要望を愛知県・名古屋市へ提出しました。

さらに、この 4 回の学習交流会の全体会として、11 月 24 日に新潟県立大学の村山伸子教授をお招きし、「現代日本における子どもの食格差の現状と課題」と題して講演をしていただき学習会をしました。併せて、連続学習会の報告と、成ゼミ生による子ども食堂へのボランティア参加経験のレポートの発表がされました。この学習会の記録をブックレット『子どもたちを孤立から救おう！子ども食堂の挑戦』として発行する予定です。

10 月には愛知県・名古屋市へ要望書を提出しましたが、要望の実現には至りませんでした。今後は要望の実現に向けて情報収集を行い、行政との距離を埋めるために議論を重ねていくことが大切だと感じています。

1 月には愛知県の子どもの貧困についてシンポジウムが開催され、愛知県内・名古屋市内の子ども食堂マップと 66 ヲ所の子ども食堂のパネル作成を行い、当日の展示等に協力をしました。

2 月 4 日には東京・池袋で開催された「子ども食堂サミット 2018」に参加し、「子ども食堂版つな

がりマップのつくり方」の報告をしました。

ネットワーク創立後、多くの関心が寄せられ、支援、開設、取材、講演などの問い合わせなどが飛躍的に増えました。多くのメディアによる報道もされました。これらは想定外の出来事であり、事務局長に多大な負担をかけてきました。事務局の力があって、ネットワークとして存在が少しずつ認知され、1年目として大きな実績を作ってきました。

◎幹事会と事務局体制について

概ね月1回のペースで幹事会を行ってきました。幹事会や学習会の会場として中京大学を借用させていただき、感謝しています。想定外の様々な問い合わせへの対応、また事務的な処理につきましても成先生と成研究室の職員に献身的な努力をしていただきました。今後は、成研究室の負担軽減のため事務局を移転し、SNSの管理体制を検討することにします。

この1年の成果をさらに広げ、子ども食堂が地域において当たり前の存在として根づいていくための活動を共に広げていきます。幹事会は、目前の課題に追われ、議論が十分とはいえません。政策や調査、情勢分析などを検討する政策集団も必要になってくるのではと思います。子ども食堂運営者らが情報や悩みを共有しながら、幹事が少しずつ仕事を分担し合い、みんなが支え合って活動を進めたいと考えます。

◎2018年 活動方針

この1年間、多くの子ども食堂が開設され、愛知県内で90ヵ所に及ぶと推察しています。各子ども食堂の課題や悩みは月日を重ねるに従って多様になってきています。

何よりも大切なことは安心・安全な運営を継続していくことだと思います。リスク管理の責任も大きくなっています。危機管理や食品衛生の管理・保険加入などについて引き続き学習の機会を作りたいと思います。

子ども食堂の運営者は継続運営することに追われ、他の子ども食堂への見学に行くことや交流の機会は少ないと思われます。横のつながりがさらに広がり、お互いに顔が見えるような交流の機会を作っていきます。

学校・保育関係者や地域の民生委員や自治会の役員らに十分に認知されていないため、地域にとって、子ども食堂の意義について理解を広げる学習会を、行政や社会福祉協議会などと協力して、実施したいと思います。

子ども食堂及びネットワークに対する関心は強く、多くの期待が寄せられています。各子ども食堂の運営が継続され、さらに充実していくために、ブロック別の交流会や学習会の実施に向けて、ネットワークとしても努力します。

全国で広がっている様々な中間支援組織やその活動について、先進事例を学ぶ機会を作ります。また、11月に開催が予定されている『食』でつながるフェスタ&広がれ子ども食堂の輪 IN 愛知の成功に向けて協力します。童話作家の藤真知子さんから寄贈されたご著書と、東海日販会からの寄贈図書を合わせて、希望する子ども食堂間での移動文庫を実現することにも取り組みます。

御礼

あいち子ども食堂ネットワークは下記の方々から活動への寄付をいただいています。この場をお借りしまして、厚く御礼を申し上げます。

- ◆ 株式会社 ホシザキ代表取締役会長 坂本精志
- ◆ 株式会社 マルト水谷 ハッピーリングチャリティ
- ◆ 名古屋名東ロータリークラブ
- ◆ 一般社団法人 キューピーみらいたまご財団
- ◆ 台湾料理 味仙
- ◆ 童話作家 藤真知子
- ◆ 東海日販会
- ◆ 株式会社 ライトオート I
- ◆ 株式会社北村土地相談役 北村正和
- ◆ 須賀歯科医院院長 須賀康夫

(順不同・敬称略)

このほかにも、多くの子ども食堂へ、それぞれご寄付や食材提供をしてくださいました団体、企業、個人のみなさまに心より感謝を申し上げます。

月 別 予 定	内 容
2018年 6月 23日	第2回 総会 基調報告・分科会
7月	幹事会 (任務分担の確認) 要望書案の議論
8月	幹事会 学習会の立案 要望書の成案
9月	幹事会 学習会 愛知県・名古屋市へ要望書の提出・懇談
10月	幹事会 ブロック別学習・交流会
11月	幹事会 ブロック別学習・交流会
11月 24日	「食」でつながるフェスタ&広がれ子ども食堂の輪 IN 愛知
12月	幹事会 愛知県・名古屋市との懇談会
2019年 1月	幹事会 ブロック別学習会のまとめ
2月	幹事会
3月	幹事会 総会に向けて年間のまとめ準備
4月	幹事会 年間活動の総括・方針の作成準備
5月	幹事会 活動の総括次年度方針案・予算案決定
☆随時	☆ 愛知県・名古屋市主催の子ども食堂フォーラム等に協力 ☆ 他県・他市の先進事例の視察及び学習 ☆ 全行的な紹介などへの参加 ☆ 愛知県内子ども食堂への訪問・懇談